

ハートレター

第 116 号

2022 年 8 月 5 日

発行：社会福祉法人 絆の会

発行責任者：太田廣美

事務局所在地：

長野市若里 3-14-23

TEL 026-226-6045

FAX 026-262-1262

houjin@kizuna-nagano.or.jp

http://www.kizuna-nagano.or.jp/



2Pからの内容

・家族会交流会

・ボランティア 絆カフェ

・Rainbow 絆お見事！3位入賞

3P ・B型事業所 夏の暑さに負けず

頑張っています！・悠友ハウス・そば

工房さずな・あんだんて・びーんず

・夕涼み市開催しました！

4P ・きょうされん第 45 次国会請願運動

・災害は忘れたころにやってくる

・メンバーの活躍あれこれ

・インフォメーション

6月13日(月)に令和4年度の家族会総会、研修会を参加者27名で開催。総会は時間を短縮し駆け足での進行となりましたが、事業・会計報告、事業計画等の議事を無事終了し、新役員の紹介もすることができました。

地域の中の安心の場：ムリせず居られること、排除されないこと

研修会は富山県高岡市の一軒家を個人で借り、様々な人を受け入れ11年目になるという「コミュニティハウスひとのま」代表者の宮田隼さんをお招きし、「地域の中で安心して暮らすために家族のできる」という演題でお話頂きました。「ひとのま」には不登校・ひきこもり・生活困窮者や刑務所を出た人も訪れ、受け入れているということに驚きの声も。自然に無理なく「支援」ではなく「友だち」として、話を聞く、遊ぶ、気を配るなどの話や「ひとのま」の生活の一端を映像で紹介、時にユーモアを交え語られ、参加者は興味深く講演に聞き入っていました。



また、ひきこもりの相談には家を訪れることもあり根気よく接していく。家族と定期的に作戦会議を開いているというそんな話には羨ましさも覚えました。

講演会後には是非また宮田さんの話を聞きたい。高岡の「ひとのま」を訪れたいという声があがりました。宮田さんからは『他の家族会で講演の機会もあったが、今日の皆さんの表情がとても良いのに驚いた』『講演会僕も楽しかったです』とのお言葉を頂きました。

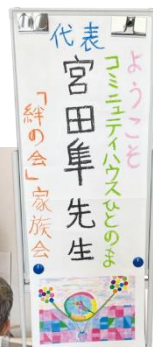
研修会では質問も多数出て内容の濃い会になりましたことに感謝し、お礼申し上げます。

(家族会会長 山越つむ枝)



講師の宮田隼先生は「コミュニティハウスひとのま」を開いて10年とのこと、お若いとはいえ大変なご苦労があったと思います。様々な人達に対してある程度距離感を持ち、構えない、飾らない、自然な心で接してこられたのかな！と思います。第2、第3の「ひとのま」があちこちに開設されるといいと思いました。心に残ったお話でした。

(家族会 荒井房子)



研修会「ひとのま」代表宮田隼さんのお話には驚いたり、面白い話、「え、大丈夫？」なんて思うところもあって興味をひかれた、とても良いお話でした。色々な状況の人が集う「ハウス」には感動を覚えましたね…。これは「絆の会」が目指している方向であり、大きくは日本社会が進むべき方向だとも思います。お花の装飾もして頂き、お客さまを気持ちよくお迎えでき、とてもよかったです。

(家族会 JOH)

家族会では家族会交流会の開催や9月にはきょうされん全国大会にも参加します。家族同士の交流、学びを大切に、みんなで取り組んでいきます。2面へ続く